

要 望 書

下北半島縦貫道路の整備促進について

青 森 県 む つ 市
青 森 県 む つ 市 議 会

下北半島縦貫道路の整備促進について

【要 旨】

東北縦貫自動車道八戸線に連結し、その機能を最大限発揮する地域高規格道路「下北半島縦貫道路」の早期供用を図り、地域・拠点の連携を確保しストック効果をより高めるため、重要物流道路に指定し機能強化、重点支援を図るとともに、既着手区間の整備促進、未着手区間の早期事業化を要望します。

【理 由】

当市の道路行政の推進につきましては、平素より特段の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成27年12月に策定した「むつ市国土強靱化地域計画」において、災害時の半島孤立化を回避する唯一の事業として早期整備を位置づけている「下北半島縦貫道路」は、平成7年度に整備着手し、供用済区間「野辺地バイパス」、「有戸バイパス」、「有戸北バイパス」に加え、昨年11月15日に「吹越バイパス」が新たに開通となり、全長約68kmのうち25.3kmが供用されたところであり、沿線自治体の雇用の増加や交通事故の減少など、目に見える効果が発揮されており、今後さらなる「ストック効果」の発現が期待されます。

さらには、平成28年度に新規事業化となった「横浜北バイパス」をはじめ、既着手区間26.1kmにおいて着実に整備が進められるとともに、未着手区間でもあります、むつ市奥内から中野沢を結ぶ約10km及び野辺地町から七戸町を結ぶ約7kmにおいても早期の事業化がなされ、「下北半島縦貫道路」の全線が供用されることに

より、救急医療ネットワークの向上や優れた地域産品の流通拡大が図られるなど、地域高規格道路としての真価が発揮されるものがあります。

災害に強く、安全で安心な暮らしと、人口減少の克服や地方創生を実現する下北半島地域をつくり、さらには国土の強靱化を図るためには「下北半島縦貫道路」全線の早期整備が不可欠です。

つきましては、市民にとって『いのちの道』であり、下北半島地域の物流・人流を支える下北半島縦貫道路等の基幹道路については、重要物流道路に指定した上で機能強化、重点支援を図るとともに、既着手区間26.1kmの整備促進と未着手区間約17kmの早期事業化を要望いたします。

平成30年 月 日

むつ市長 宮下 宗一郎

むつ市議会議長 白井 二郎

